

平成26年度 小林市立野尻中学校 学校関係者評価書

4段階評価	4 期待以上	3 ほぼ期待どおり	2 やや期待を下回る	1 改善を要する
-------	--------	-----------	------------	----------

学校経営 ビジョン	未来を生き抜くための確かな学力、豊かな心、たくましいからだをもった子どもの育成をめざす。 特に、生徒一人一人の夢実現のために、知育・徳育の育成をはかる
--------------	--

項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	結果の考察・分析及び改善策等	自己評価	関係者 評価	学校関係者評価のコメント
知 育	<p>[重点目標] 夢に向かって自分の考えをもち、進んで学ぶ生徒の育成をめざす。</p> <p>[手段] 1 生徒の基礎学力の確実な定着のために、協同的な学習を位置づけた問題解決的な学習を確立し、指導方法の工夫改善を図る。 2 生徒が積極的に授業に取り組むために、少人数指導やICTを効果的に活用する。 3 生徒の将来の夢実現のために、キャリア教育を実践する。 4 読書活動の充実及び読み聞かせ活動を実践する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ ルールの定着、日々の指導が不足した。</li> <li>◇ 昨年度までの研究が授業に活かされなかった。</li> <li>◇ 学習意欲の低い生徒がいる。キャリア教育の充実を図り、具体的な目標をもたせたい。</li> <li>◇ 一人一研究としての論文が達成できなかったが、指導方法工夫改善は取り組めた。</li> <li>◇ 家庭学習の充実を図る必要がある。</li> <li>◇ 読書活動・読み聞かせの充実を図る。</li> </ul>	2.8	3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 授業で学ぶこと以上に他の事へも興味をもち、学んでいこうという姿勢も出てくるとよい。</li> <li>◇ 教師が一人一人に学ばせようとしていることは、たいへんよい。</li> <li>◇ 今後の基礎学力の定着には、携帯電話やスマートフォンの問題について、保護者や小学校との連携が必要ではないか。</li> <li>◇ 今後とも家庭学習の定着についての啓発・指導をお願いしたい。</li> <li>◇ 次年度は、日々の指導力不足がない事を期待します</li> <li>◇ キャリア教育や授業等、充実した取組は素晴らしい。反面、家庭への啓発や協力体制が不十分。塾への依存も大きい。</li> <li>◇ 研究の内容等を保護者に公開するなど、理解と協力を得る工夫が必要・</li> </ul>
徳 育	<p>[重点目標] 思いやりの心をもち、よりよく生きていこうとする生徒の育成をめざす。</p> <p>[手段] 1 生徒の豊かな心育成のために、道徳の時間の完全実施及び道徳の時間の充実を図る。 2 基本的な生活習慣確立のため、お互いを高め合う協同的な取組を取り入れ実践する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 道徳の時間は、学級の実態等もあり、年間計画通りに実施できない場合があった。</li> <li>◇ SGEやSSTについては、取組に学年差や学級差があった。</li> <li>◇ 組織的な生徒指導体制の構築が必要。</li> <li>◇ 「私たちの道徳」の有効活用。</li> </ul>	2.7	2.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 自ら進んで相手を思いやる行動ができるようになることを願う。</li> <li>◇ 道徳の時間の確保は昨年度の自己評価でも学年・学級で計画通り実施されていなかった。充実した時間の確保をお願いしたい。</li> <li>◇ 活用できる事は有効に活用してほしい。</li> <li>◇ 思いやりの気持ち、あいさつが明るく元気がある。</li> <li>◇ 生徒が、自分自身の意見を言える、そして気付く事が必要である。</li> <li>◇ 年間計画通りに実施できていない面の改善が必要。全職員が組織的にチームとして取り組む事が重要である。</li> </ul>
体 育	<p>[重点目標] 自分の健康について関心をもち、心と体を鍛える生徒の育成をめざす。</p> <p>[手段] 1 生徒の基礎体力の向上のために、新体力テストのデータを基底とした運動を推進する。 2 自分の健康を維持向上させるために、体位測定や運動器検診等各種検診を用いた具体的指導を行う。 3 生徒の安全な生活向上のため、危険回避能力の育成のためにお互いを高め合う協同的な取組を取り入れ実践する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 全体で良く取り組んでいた。</li> <li>◇ 体力向上を組織的・計画的に全職員で取り組む事ができるとよい。</li> <li>◇ う歯治療については、集会を数回開催するなど努力した結果、前年度より治療率が 向上した。</li> </ul>	3.1	3.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 元気に登校し、部活動等に活躍していることはたいへんよい。</li> <li>◇ う歯治療率の向上は、生徒の意識向上と保護者の認識を促す対策を図ってほしい。</li> <li>◇ 総合的によかったと思う。</li> <li>◇ 忍耐力をつけてほしい。</li> <li>◇ ラジオ体操を取り入れた体育大会はとてもよかった。</li> <li>◇ 体力の向上・維持のための実践継続をお願いします。</li> </ul>
食 育	<p>[重点目標] 自分の食生活を振り返り、望ましい食習慣を身に付ける生徒の育成をめざす。</p> <p>[手段] 1 食事と栄養に関心をもち生徒の育成のために、自ら作る弁当の日を実践する。 2 生徒の食に関するマナーや衛生管理等の育成のために、お互いを高め合う協同的な取組を取り入れた給食指導を実践する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 給食感謝週間については、子どもたちが頑張って素晴らしい発表ができた。</li> <li>◇ 一部の先生方の負担が大きかった。</li> <li>◇ 「弁当の日」については、親子のコミュニケーションを図りながら楽しんでつくっている生徒が増えている。</li> <li>◇ 給食のマナーなど、生徒による啓発活動を促したい。</li> </ul>	2.8	3.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 弁当の日はたいへんかもしれないが、色々な面でプラスになることが大きいと感じる。食の大切さをもっと知ってほしいと思う。</li> <li>◇ 朝食の摂取・食事のマナー等、家庭と連携した取組が大切だと感じます。</li> <li>◇ 弁当の日で、家庭へのメッセージをつけて家族のためにつくるなど、親子の関係づくりにも工夫・発展をお願いしたい。</li> <li>◇ 弁当の日が充実してきている事が嬉しく思います。弁当の日から家庭での手伝いへと意識がつながっていく事を期待します。</li> </ul>
そ の 他	<p>1 職員の交通事故・交通違反0をめざし、毎月学年ごとに標語を作成する。</p> <p>2 服務規律に関する研修の充実及び新聞記事を活かした具体的指導を実践する。</p> <p>3 防災教育に関する研修会への職員の派遣及び実際に機能する避難訓練になるよう避難訓練を見直す。</p> <p>4 学校生活に関する教育相談のアンケートの年間3回の実施及び呼び出し相談やチャンス相談など教育相談を充実させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 防災教育の充実。</li> <li>◇ Q-U検査の結果分析を全職員で行い、学級経営や授業に生かす事ができた。</li> </ul>	3.0	3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ たくさんの体験は、とても重要で将来につながります。これらは、気を緩める事なく実施して行ってほしいです。</li> <li>◇ Q-U検査の結果分析がよくなされ、有効であると感じた。</li> <li>◇ 防災教育は避難訓練と合わせ、危機対応力を高める指導もお願いしたい。</li> <li>◇ 防災教育は、自分の身をどうやって守るかが基本になると思います。</li> <li>◇ Q-U検査を通して、同じ問題や課題を共有し、成果が出ている事はとてもよい。是非、継続をお願いしたい。</li> </ul>

次年度の方向性についての校長所見	◇ 本年度は昨年度の課題を踏まえ、目指す児童・生徒像を意識し、教職員一人一人の資質向上を図りながら組織を機能させ、「夢を実現するための確かな学力を身に付けた生徒」の育成に全職員で取り組む事ができた。次年度も、知・徳・体・食のバランスのとれた児童生徒の育成をめざし、キャリア教育の充実を基盤にした野尻中学校ならではの特色ある教育活動の実践に積極的に取り組みたい。
------------------	--